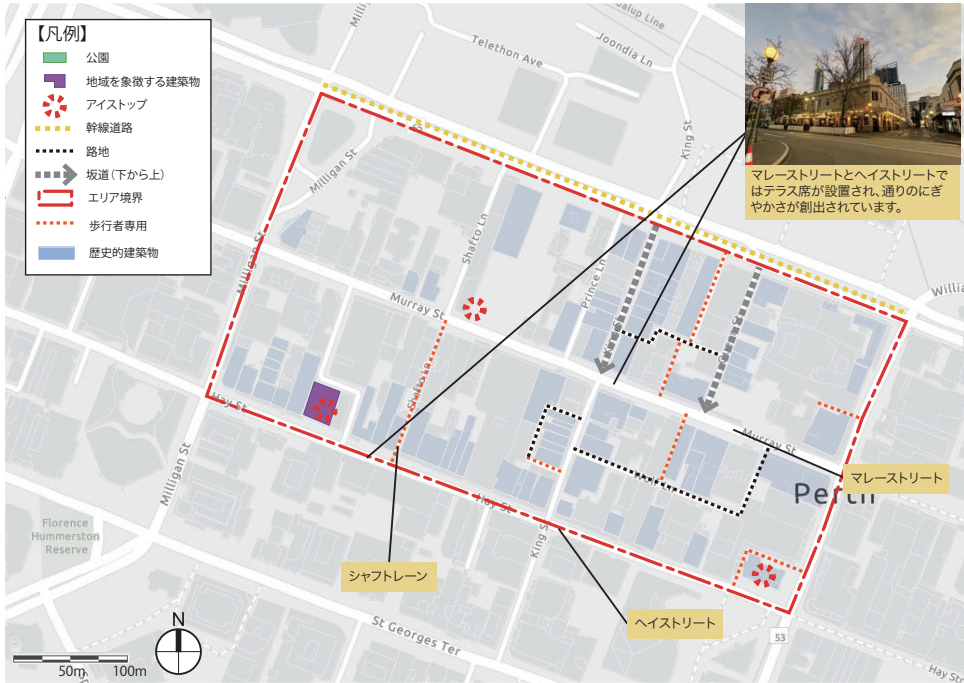


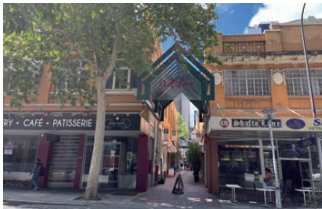
2-6 Perthショッピングセンターエリア

このエリアはパース駅の西側に位置する。エリア内は様々な業種が集積している。歴史的な外観の建物が多く立ち並び、古くから商業エリアとして親しまれてきた。そのため、歩道上に連続した屋根のある片側式アーケードが設置されているところも多い。また、路地が発展していることも特徴の一つであり、路地にはウォールアートだけでなく店舗もある。路地の中に入らないと何があるかわからないところも魅力になっている。

景観特性

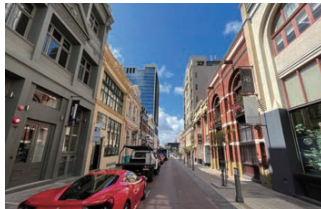


1.路地を魅力づける店舗



このエリアは直線的に通された車の通行可能な道のほかに歩行者専用の路地が多く通されていることが特徴的な地域です。路地にはお酒の飲める飲食店や雑貨店などがあり、このような通りをショッピングセンターと呼びます。パースショッピングセンターエリアはストリートだけでなく路地まで魅力的なものであふれている地域です。

2.歴史的な外観の建物



このエリアは以前から商業地として発展していたこともあり、歴史的な建物が多くあることが特徴です。新たに建設した建物も歴史的な見た目になっているものもあります。商店街の様にストリートとして発展したため建物の外観に統一性が見られ、ファサードが似た見目で統一されている看板建築が多くあることが特徴的です。

3.随所に描かれたアート



パースは町中に多くのアート作品があることからアートに力を入れた都市として知られています。このエリアには路地が多くあり、主にそこに芸術家が描いたウォールアートがあります。アートは魅力化のツールとして取り入れられることが多いです。路地にアートを描いてもらったことにより、路地にもストリートと異なる魅力があることが特徴的です。

景観形成の特徴

1.路地を魅力づける店舗

- ・ シャフトレーンの様に路地には飲食店、雑貨店などの店舗が出店し、テラス席の様に路地に開かれた店舗形態により、にぎわいが生み出されている。
- ・ 路地全体が東西南北に多く存在することで回遊性が向上し、エリア全体に人が循環するようになっている。



シャフトレーンの入り口

具体的な保全策

- 路地の中に空き店舗をつくらない。
- 路地入口の魅力向上に努める。



路地に開かれた店舗

2.歴史的な外観の建物

- ・ 商店街の様に発展したため、道路前面に配慮し歴史的な見目で統一した看板建築のような建物が多い。
- ・ ストリートで発展したため、人が歩きやすいように片側式アーケードが設置されている。



歴史的な見た目の建物

具体的な保全策

- これから新たに建設する建物は道路前面に配慮したものにする。
- ストリートで片側式アーケードが設置されているところは老朽化に配慮しつつ、アーケードが連続するようにする。または1階部分をセットバックし歩行空間にする。



片側式アーケードが設置されている

3.随所に描かれたアート

- ・ このエリアを象徴するものとなっているアートシリーズ「ザ アドネイドのウォールアート」がランドマークとなっている。
- ・ 路地のウォールアートは路地の魅力向上に貢献するだけでなく、安全の向上にも貢献している。



アートシリーズ「アドネイド」のウォールアート

具体的な保全策

- 本エリアの建物はファサードが特徴的だが、建物の裏側は何も工夫されていないものが多い。そのため、建物の裏側にさらにウォールアートを増やす。
- ウォールアートによる来客を周辺店舗に呼び込み、アートに充てる費用にする。



路地の壁面アート